



【当初予算】  
資料 1

# 令和5年度 当初予算案のポイント

つながりで切り拓く「守山の新時代」！

滋賀県守山市



# 当初予算案の規模

(単位：千円)

		令和5年度	令和4年度	増減額	対前年度比率	参考：令和2年度 (過去最大予算)
予算総額		54,725,911	54,590,046	135,865	0.2%	54,674,963
内 訳	一般会計	33,480,000	33,980,000	▲500,000	▲1.5%	34,180,000
	通常事業	29,407,202	28,755,205	651,997	2.3%	26,280,383
	大規模事業	4,046,857	4,692,492	▲645,635	▲13.8%	7,899,617
	コロナ対策	25,941	532,303	▲506,362	▲95.1%	0
	特別会計	13,840,000	13,583,700	256,300	1.9%	13,500,800
	公営企業会計	7,405,911	7,026,346	379,565	5.4%	6,994,163

※公営企業は、収益的支出と資本的支出の合計です。

主な大規模事業 新庁舎整備事業（23.2億円）、立入公園整備事業（5.7億円）  
北消防署出張所建替整備事業（5.1億円）環境センター解体事業（2.9億円）

■新市長が掲げる政策に係る新規事業等は実施に向けて引き続き検討することとし、  
令和5年度当初予算は**骨格的予算**としています。

## 骨格的予算のポイントと6月補正に向けた検討

令和5年度予算は予算編成時期に市長選挙が実施されたことから、扶助費や公債費といった義務的経費や、継続的に実施している事業を中心に予算の調製を行い、一部の政策的な経費についても当初から実施する必要があるものについては予算化しました。

今後、新市長が掲げる政策に係る新規事業等については、6月定例会議での予算化を目指し、「当初予算+6月補正予算=令和5年度予算」とするよう検討していきます。

### 【継続事業】新施設オープンと新庁舎暫定供用開始

令和5年度は北部図書館のオープンや、(仮称)伊勢遺跡史跡公園の一部オープンを予定しており、本市の新たな憩いの場、情報発信の拠点、教育等を充実させる施設となるよう整備を進めます。また、現在建設中の新庁舎『つなぐ、守の舎』の本体工事については、引き続き9月の暫定供用開始をめざして整備を進めます。

### 【継続事業】自治体DXのさらなる推進

守山市版DX推進方針に基づき、9月に暫定供用開始となる新庁舎整備に合わせICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、各部署でのDX(業務プロセスの再構築など)に取り組むとともに、国が進めるオンライン化や標準化などにも着実に対応し、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進します。

## 1. 子育てするなら守山！

令和4年度に小学校6年生まで対象を拡充した子どもの通院費医療費助成の継続や、学校司書およびやすらぎ支援員配置の充実、保育士等特別配置事業費補助金の拡充など、子育て支援・教育環境の充実を進める中、引き続き保健・福祉・教育が横断的に連携した施策に取り組んでいきます。

## 2. 住むなら守山！

医療・介護の連携強化や高齢者・障害者・生活困窮者等が安心して生活ができる環境の構築として、重層的支援体制の充実や障害・介護サービスの安定的な予算確保に努めるとともに、地域防災の根幹である消防団員の処遇改善を図るなど、だれもが住み慣れた地域で住み続けられるための施策に取り組んでいきます。

## 3. 働くなら守山！

農水産業をはじめする市内産業活性化の施策や、市内での起業・創業の支援に引き続きに取り組んでいくとともに、企業誘致を契機とした守山駅東口のあり方検討を進めていきます。また、コロナ渦で自粛していた市内イベント等への補助を実施するなど、働く場とにぎわいの復活を目指します。

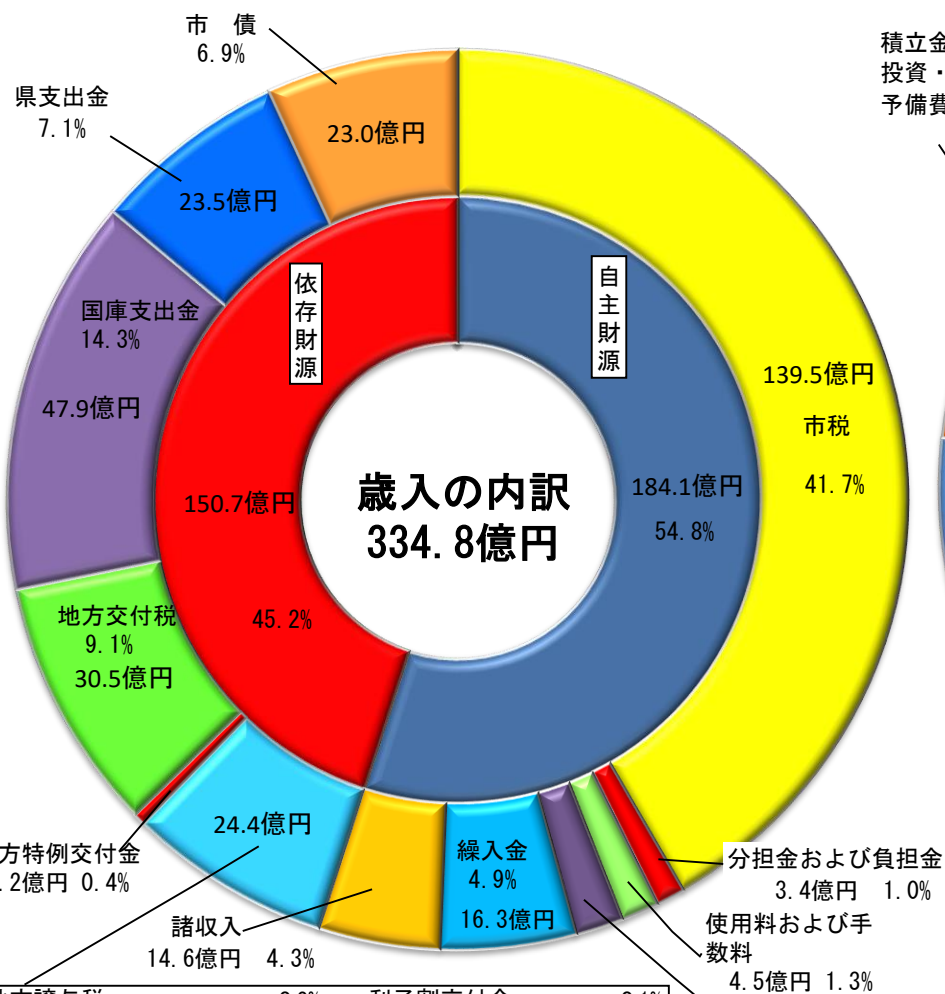
## 4. 市民が主役の守山！

「わ」で輝く自治会応援報償事業のメニュー拡充による自治会活動の支援の充実や、市民活動の中心を担っていく中間支援組織の構築に向けた検討を実施するほか、令和5年9月暫定供用開始予定の新庁舎において、利用いただく市民の利便性向上に向けたDXの推進やコンシェルジュの配置などを実施します。

⇒ [「4本柱」に基づく具体的な施策は11ページ以降を参照ください！](#)



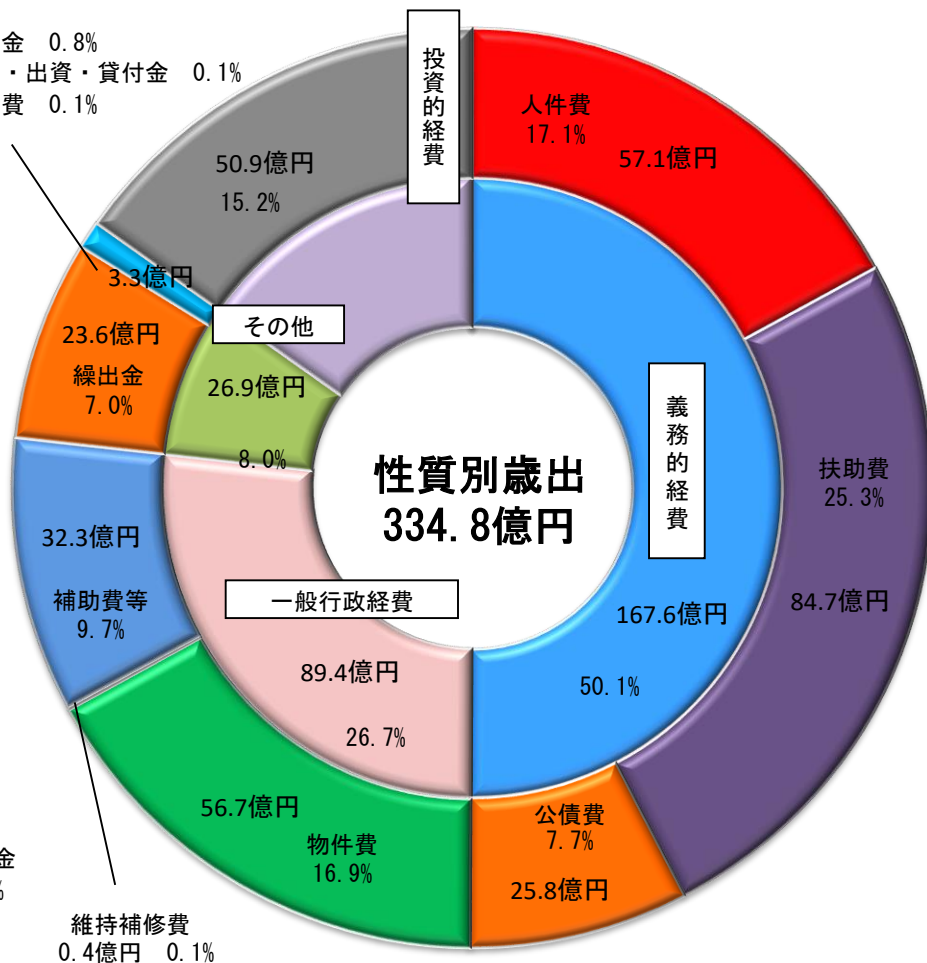
# 歳入歳出の内訳 (一般会計)



地方譲与税	0.6%	利子割交付金	0.1%
配当割交付金	0.2%	株式等譲渡割交付金	0.1%
法人事業税交付金	0.6%	地方消費税交付金	5.5%
ゴルフ場利用税交付金	0.1%	環境性能割交付金	0.1%
交通安全対策特別交付金	0.1%		

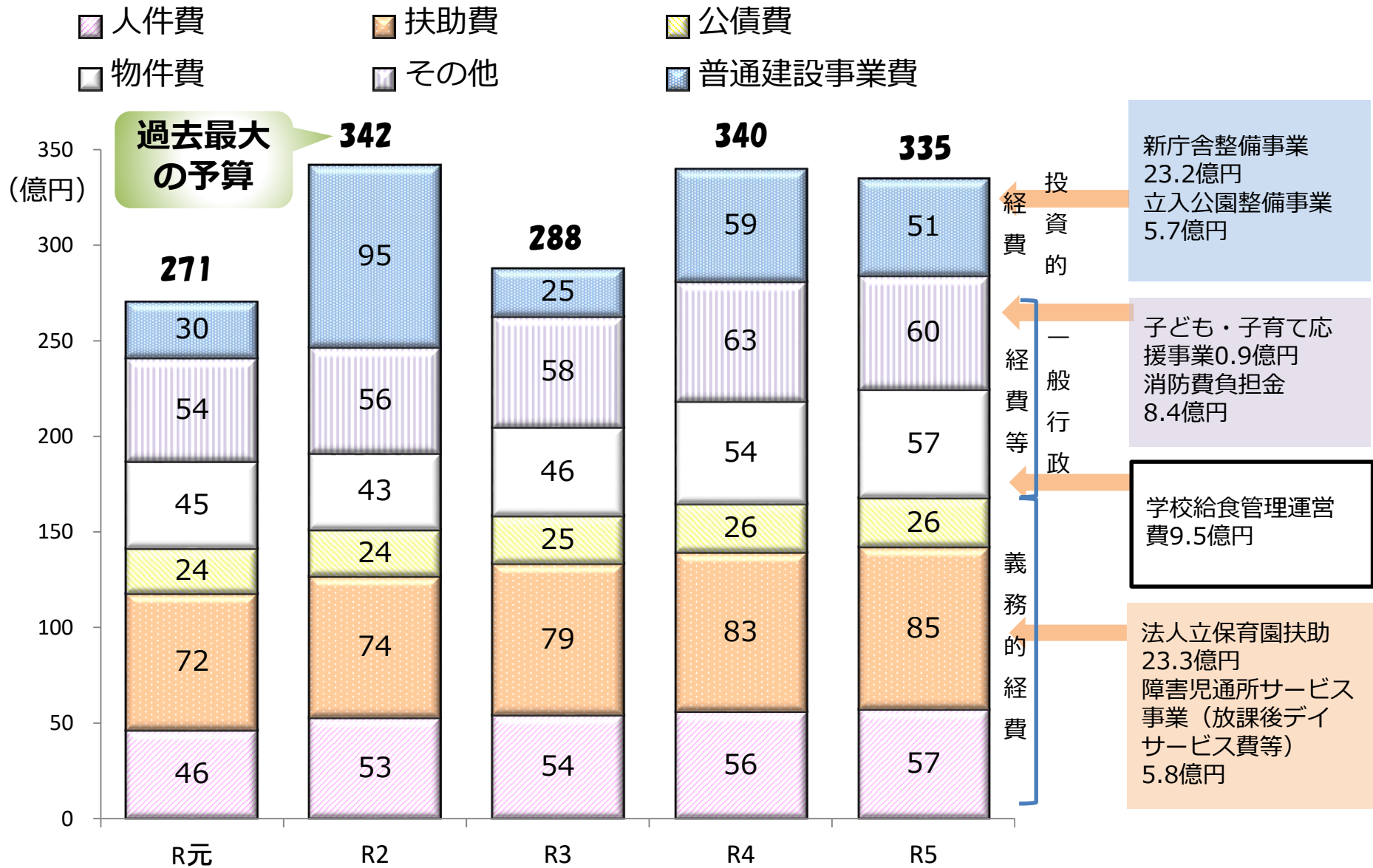
財産収入	2.5億円	0.7%
寄付金	2.5億円	0.7%
繰越金	0.8億円	0.2%

積立金 0.8%  
投資・出資・貸付金 0.1%  
予備費 0.1%





# 当初予算額の推移

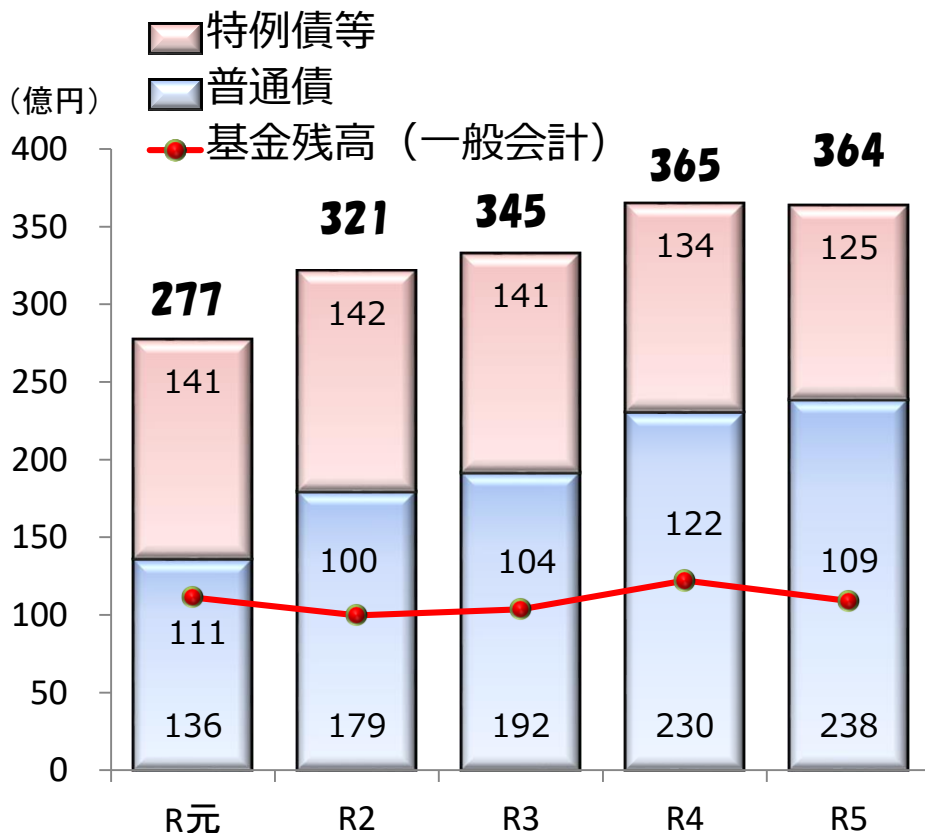




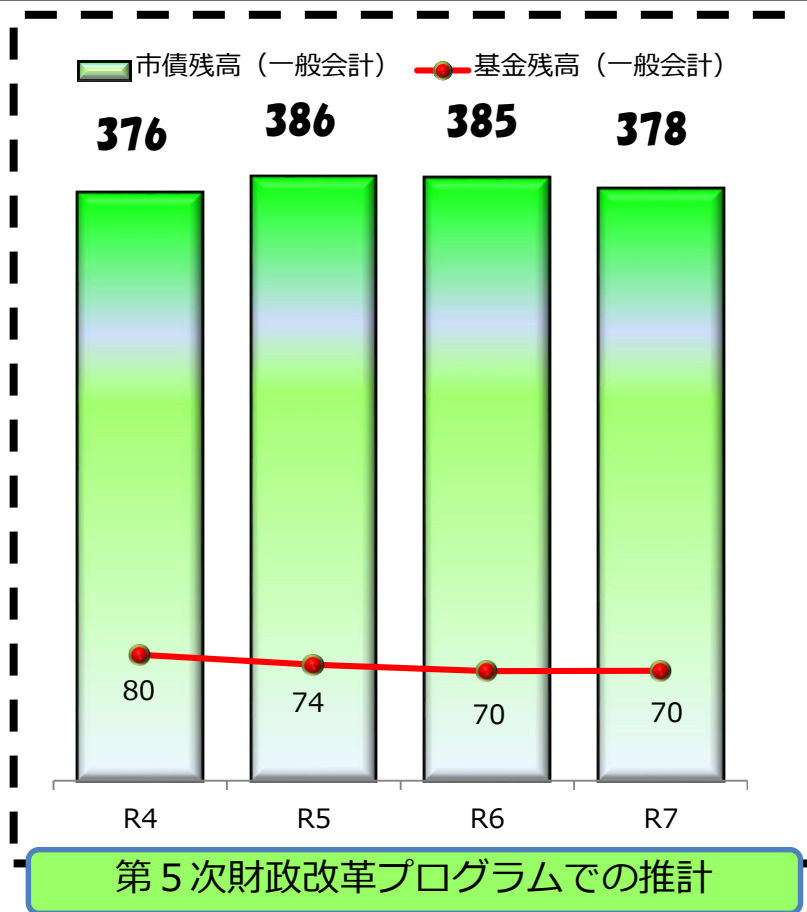


# 市債および基金残高の推移（一般会計）

- 市債残高は、令和2年度に実施した環境施設更新事業を契機に大きく増加し、今後も新庁舎整備事業などに伴い増加が見込まれています。
- 基金残高については、従前から計画的に積み立ててきた基金を新庁舎整備事業等に活用することから減少する見込みですが、第5次財政改革プログラムで定めている基金残高70億円の水準を下回らないよう適切な財政運営を実施していきます。



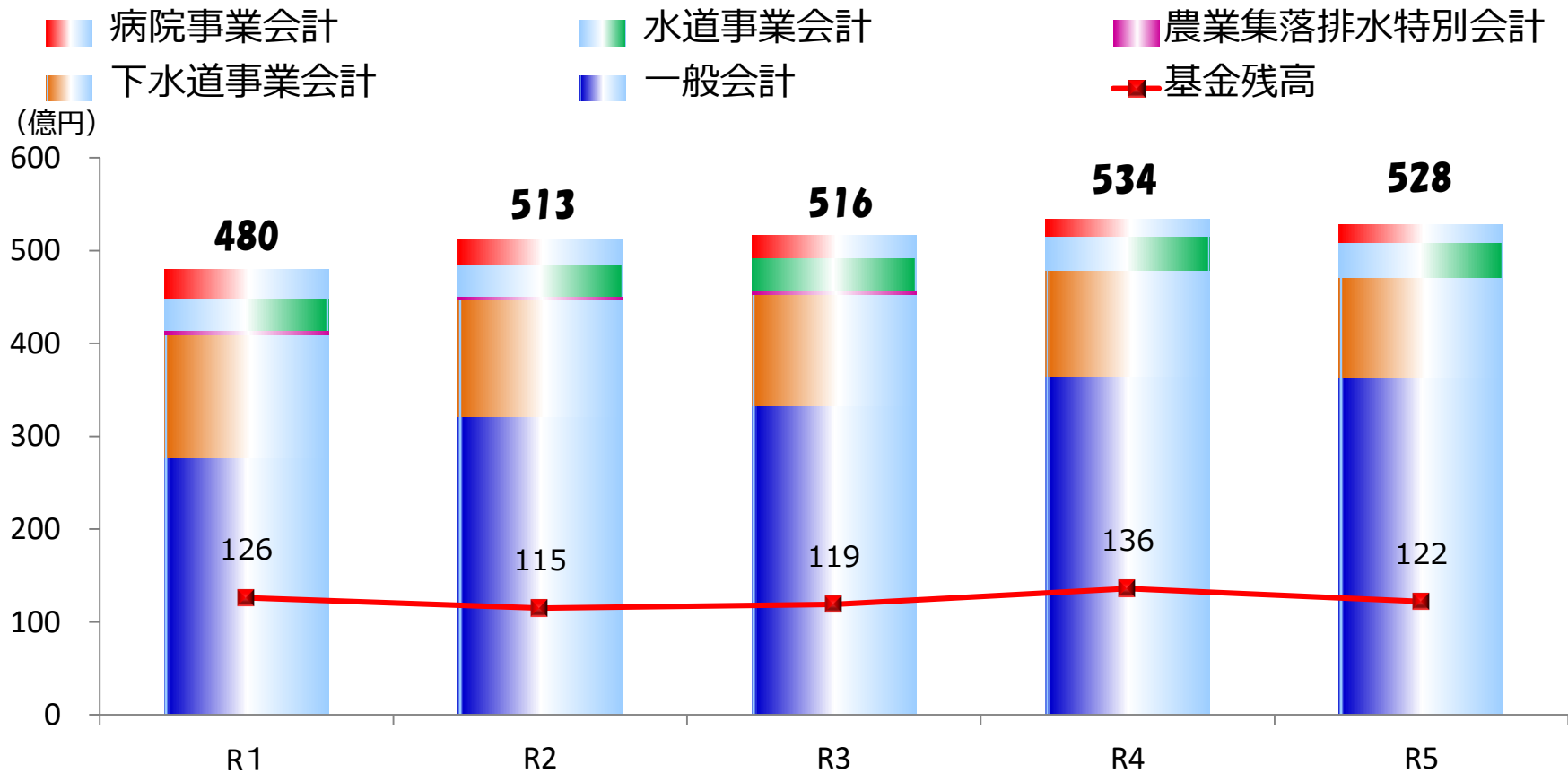
※R4年度は決算見込額。  
 ※R5年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。



第5次財政改革プログラムでの推計

# 市債および基金残高の推移（全会計）

○ 水道・下水道・病院事業会計の市債残高は、過去に発行した市債の償還終了が多数あるため減少傾向が続いています。一般会計は、新庁舎整備に係る市債の発行をR4で予定しているため増加となっています。



※ R 1 年度からR 3 年度までは決算額。R 4 年度は決算見込額。R 5 年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。

※ 農業集落排水特別会計 R 3 で終了しています。



# (仮称) 伊勢遺跡史跡公園整備事業

予算 152,667千円 (国72,645千円、債45,000千円)

(仮称)伊勢遺跡史跡公園については、令和2年度から造成工事、令和3年度からは遺構展示施設や管理棟の建築工事に着手してきました。

令和5年度には館内の展示にかかる整備と外構工事に着手し、令和5年11月の供用開始を目指します。

## ○整備事業費

- ・ 遺構展示施設映像制作 44,990千円
- ・ // 展示制作 5,040千円
- ・ 外構工事費等 R5当初 100,300千円

## ○オープニングイベント 139千円

・ 開催時期 令和5年11月 (予定)

・ 内容 第一部 記念式典

第二部 イベント

○伊勢遺跡まつりの開催

○トークショー

施設の設計者・古代史の専門家による  
講演、対談 など



↑施設全体イメージ

↓施設館内イメージ



# 守山市立北部図書館が開館します！

予算 4,137千円

より多くの市民の皆様が本に親しみ、読書の楽しさを知り、末永く愛される施設となることを願い、開館記念講演を開催します。

## 開館記念講演

守山市ゆかりの

直木賞作家 **今村 翔吾さん** 12月中予定



### 今村翔吾さんプロフィール

第166回(令和4年)『塞王の楯』で直木賞受賞。平成27年から平成30年にかけて、守山市立埋蔵文化財センター埋蔵文化財調査員として勤務。



# アフターコロナを見据えた地域の絆の再生

## (1) 「わ」で輝く自治会応援報償事業 20,000千円

市民協働課 担当 猪田 連絡先 077-582-1148

地域の課題解決につながる地域ぐるみのまちづくりの取組を展開していただくとともに、地域の自発的で主体的な活動を奨励することを目的に、自治会の取組を支援します。

区分	対象メニュー ※5取組まで	報償金額
輪和	交通安全	1取組につき 10千円
	防災・防犯	
話	交流 ※新規追加項目あり	→ (区分ごとの 上限50千円)
	健康	
環	ごみの減量化・再資源化	1取組につき 30千円 ※上限 60千円
	環境保全	
先駆け	地域の特色を活かした取組や他の自治会の模範となる新たな取組 ※2取組まで	

新規項目

### 「住民同士の絆づくり」

住民同士の絆づくりを目的とし開催するイベント等。

- ・運動会・文化祭
- ・趣味の発表会など



### 「自治会事務の効率化・担い手づくり」

若い世代をはじめ住民に自治会活動を知ってもらう取組や事務の効率化を図る取組。

- ・SNS・HPによる自治会情報の発信等



## (2) 国際交流事業の再開 2,580千円

2,580千円

### 姉妹都市使節団の受入れ

- 米国ミシガン州エイドリアン市
- 米国ハワイ州カウアイ郡

直接的な交流を控えていましたが、姉妹都市からの使節団受入から本格的な交流再開を図っていきます。



市民協働課 担当 大宅 連絡先 077-582-1149

## (3) 市内産業への支援 1,500千円

1,500千円

### つなぐ守山産業振興イベント支援補助金

コロナ渦で停滞していた市内経済やにぎわい復活を目的に、守山市内において事業者団体が行うイベント事業に対し補助金を交付します。



- ▶ 補助率 補助対象経費の **2分の1以内**
- ▶ 補助上限額 **10万円**

商工観光課 担当 村井 連絡先 077-582-1131

# 紙おむつの処分を園で実施

予算 2,240千円

- ① 保護者の負担軽減 (子育て支援)
- ② 衛生面の不安解消 (感染症対策)
- ③ 保育士の負担軽減 (働き方改革)



▶ これらを目的に、市内認可保育所等での紙おむつの処理を『持ち帰り』から『園での処分』に変更していきます。

## ◆公立園で実施

現在、使用済紙おむつについては、園児ごとの保管箱で一時的に保管し、保護者が袋に入れて持ち帰っていただいておりますが、保護者の負担軽減等を目的に、令和5年4月から、『園での処分』に変更します。

### 【概要】

- 対象施設  
保育所・こども園・幼稚園…11施設



## ◆民間園での実施を推奨 2,240千円

公立園での実施に併せて、民間園においても実施していただけるよう、新たに補助制度を創出し、『園での処分』を推奨します。

### 【概要】

- 対象施設  
保育所・こども園・地域型保育施設…30施設
- 補助金  
処分に係る費用の一部を施設へ補助  
⇒園児1人当たり200円/月



# 子育て環境の向上

予算 167,338千円（国7,791千円、県 13,000千円）

より質の高い保育の実現に向けて国の配置基準を上回る手厚い保育士配置を行うための補助金の拡充、送迎バスへの安全装置の設置費の補助、保育所入所選考AIシステム等の導入による申込から決定までの期間短縮化により、子育て環境の向上を図ります。

## ◆保育士の配置に係る補助金の拡充

152,280千円

### 保育士等特別配置事業費補助金

市独自の職員配置をした場合の補助金を拡充。  
（職員1人あたり300万円⇒324万円）

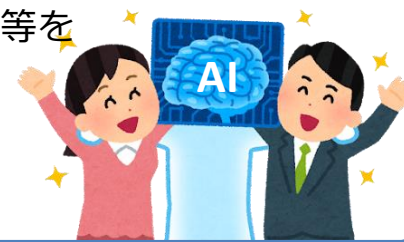
- 低年齢児保育事業 100,400千円
- 地域担当保育士等特別配置事業 51,840千円

## ◆保育所入所申込に係るシステム導入

14,533千円

### 保育所入所選考AIシステム等導入

保育所入所選考にAIシステム等を導入し業務の効率化を図り、申込から結果通知送付までの期間を段階的に短縮します。



## ◆送迎用バスへの安全装置導入補助金の新設

525千円

### ●送迎用バスへの安全装置導入支援補助金 175千円/台

送迎用バス内での園児の置き去りを防止するため、通園等の送迎用バスへの安全装置が義務化されることに伴い、その設置に要する費用を補助します。  
（令和5年度中の設置義務化）

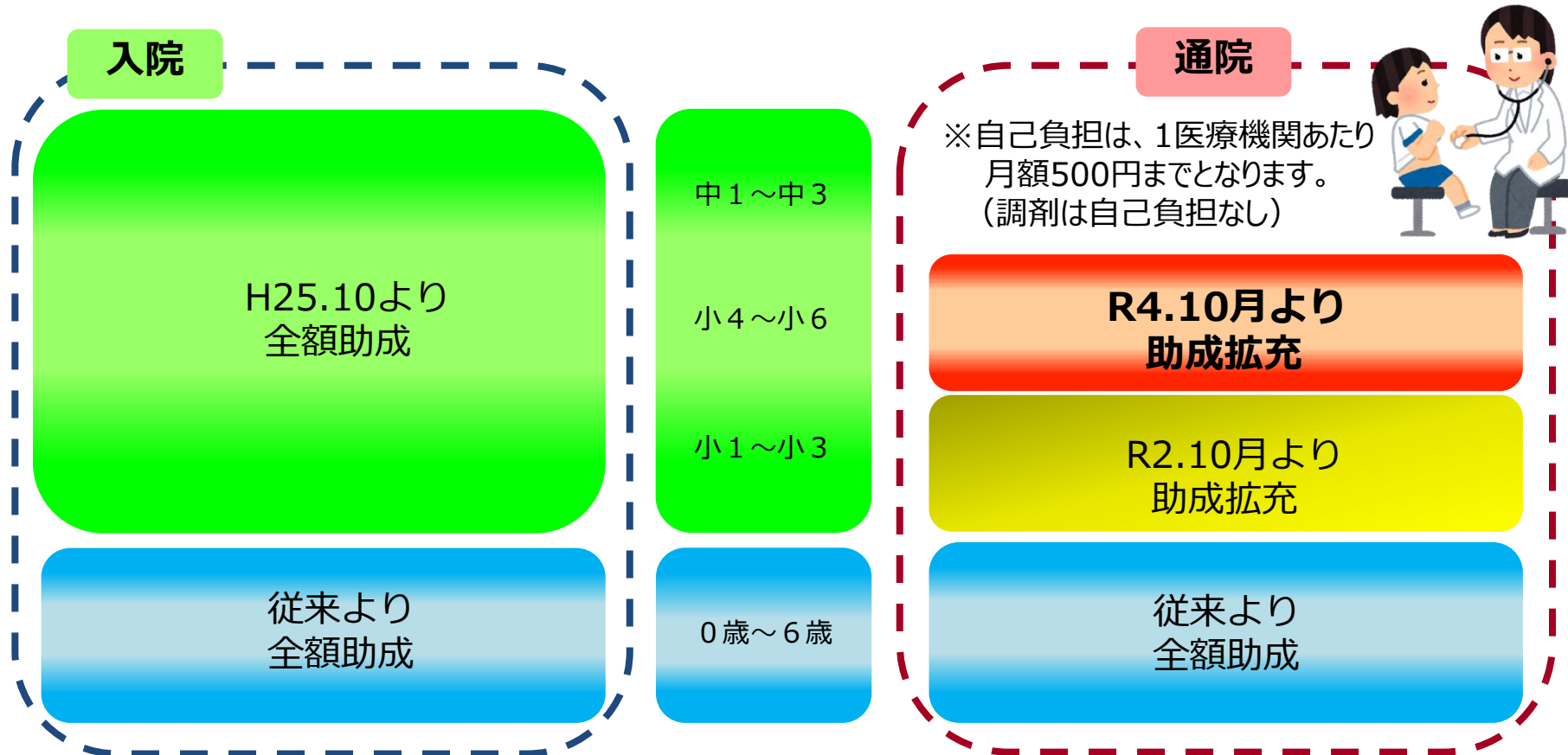


# 子ども通院医療費助成事業（通年化）

予算 64,736千円

【継続】子育て支援の更なる拡充に向け、

**小学校4年生から6年生までの子どもの医療費を助成を引き続き実施**します。



国保年金課 担当 武友 連絡先 077-582-1120



子育てするなら守山！

# 環境学習都市推進事業

予算 9,233千円（国3,043千円、基600、他810）

もりやまエコパーク交流拠点施設を環境学習の拠点とし、学校や市内事業所と連携した環境学習に加え、子どもから大人まで楽しく参加できる様々な環境学習を実施します。

また、琵琶湖や野洲川等、恵まれた自然環境を活かしたフィールドワークの実施等、プログラムの充実を図ります。

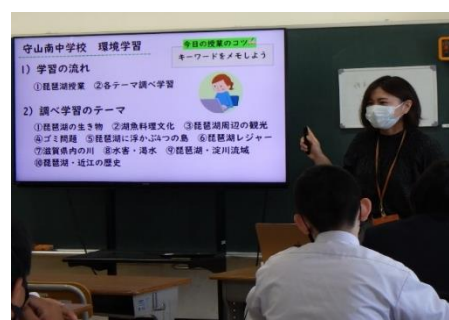
さらに、環境センターと連携した施設見学や環境学習に加え、講演会やワークショップなど様々なイベントを盛り込んだ「もりやまエコフェスタ」も実施します。



琵琶湖でのフィールドワーク



エコパークでの環境学習



学校での環境学習



もりやまエコフェスタ

令和4年度 環境学習参加者 2,587名 ※令和5年1月末時点。  
(市主催207名、学校1,875名、自治会71名、その他434名)

自然環境・地球温暖化防止・リサイクル等、様々な内容の環境学習を実施。

# 学校司書配置の拡充事業

予算 5,421千円

## 本好きの子どもを増やし、読書日本一のまちづくりにつなげます

令和4年度まで  
学校司書4人配置



各校  
週1日勤務

令和5年度から 学校司書7人配置

市内のすべての市立小中学校13校へ、週1回勤務から週2回勤務へ拡充します。

学校図書館を活用し、子どもたちが本に親しみ心豊かな学校生活を送れるよう支援します。

各校、週2日勤務へ



★学校司書はこんな仕事をしています。

本の登録・書架整理、本の修理と除籍  
昼休み等に来室した児童への絵本の読み聞かせ  
授業のテーマに沿った本の用意、本の展示  
児童・生徒へのおすすめ本の案内  
図書委員との関わり、地域ボランティアとの連携  
教諭への学校図書館の使い方案内、購入本の選定と発注  
ブックトーク、多読賞等、読書に関するイベントの提案



季節の展示



おすすめ本の紹介

図書館 担当 佐藤・井澤 連絡先 077-583-1639

# やすらぎ支援相談員配置事業

予算 8,504千円

不登校をはじめとする学校不適応児童生徒の増加に伴い、新たに市内全小学校にやすらぎ支援相談員を配置するとともに、中学校の配置人数も拡充し、教室復帰支援や悩み相談など、児童生徒をさらに支援します。

令和4年度まで

やすらぎ支援相談員 4名配置

- ・週4日勤務×4名
- ・中学校4校に1名



令和5年度から

やすらぎ支援相談員 **17名 (13名増員)**

- ・従来の体制に加え、週3日勤務×**13名を追加配置**
- ・【拡充】中学校4校は2名に拡充（計8名）  
→思春期の不安や悩みの相談体制の拡充  
毎日の切れ目ない支援体制の構築
- ・【新規】小学校9校には**1名ずつ新規配置（計9名）**  
→新たに小学校に支援員を配置することにより、  
小学校段階から早期に支援できる体制を構築
- ・支援相談員の処遇改善  
→時給1,000円から1,100円に改善



## ★やすらぎ支援相談員はこんな仕事をしています。

- ・別室登校から教室復帰を目指す児童生徒の学習などを支援しています。
- ・学校生活、家庭生活や卒業後の進路などの不安や悩みに寄り添い、教員以外の大人として支援しています。

学校教育課 担当 木村 連絡先 077-582-1141



# 消防団の充実強化(消防団年額報酬の見直し)

予算 8,621千円

地域の防災体制の中核的役割を担う消防団員の年額報酬について、全国的な消防団員の担い手不足や、激甚化・多発化する災害への対応により、消防団員の負担が増加していること等を踏まえ、国から示された基準をもとに改定します。

区分	R4	R5~	国基準
団長(1名)	72,000	82,500	82,500
副団長(2名)	60,000	69,000	69,000
分団長(8名)	48,000	50,500	50,500
副分団長(8名)	35,000	45,500	45,500
部長(8名)	32,000	39,000	37,000
班長(37名)	26,000	37,000	37,000
団員(155名)	23,000	36,500	36,500

[単位：円/人]

- ・ 上表は、消防団活動における1年間(年額)の報酬。
- ・ 職務内容等に鑑み、「部長」は国基準より+2,000円で報酬額を決定。
- ・ 年額報酬の他、災害や広報、訓練等への出勤に対しては、出勤報酬(1,000円/時間)が措置されています。



MSL分団による広報活動



訓練活動

守山市消防団 : 団本部(3名)、各学区を管轄する7分団(1分団定員28名/計196名)、  
【現在216名】 守山サundeイース分団(MSL分団/定員20名)の合計219名で組織

# 重層的支援体制整備事業

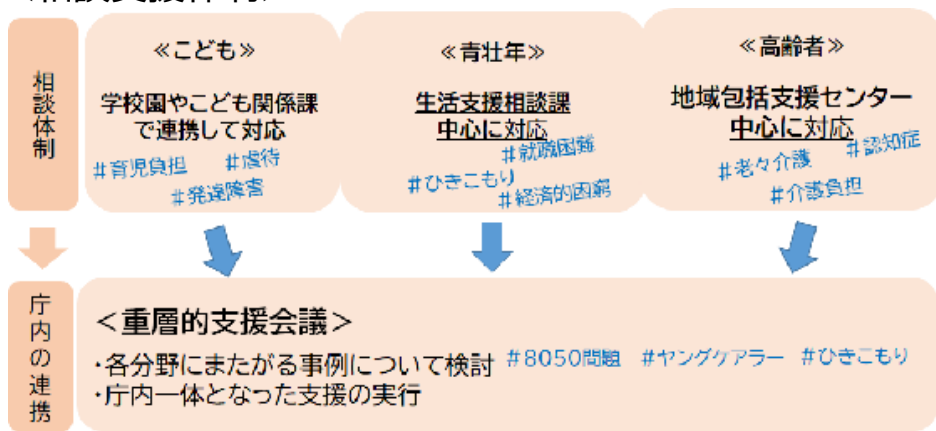
予算 227,021千円（国84,116千円、県34,847千円）

## I 家族まるごとの相談支援体制の充実

- ①包括的相談支援事業 ②多機関協働事業
- ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

学区担当制を継続し、民生委員・児童委員や圏域包括支援センターなど、地域との連携を進め、8050問題等、市民が抱える家庭の課題やニーズに対応するため、家族まるごとの相談支援体制のさらなる強化を進めます。

### <相談支援体制>



## ● R5 に向けての強化ポイント

- ひきこもりの要因となる不登校などの事例を踏まえ、ひきこもり支援の強化を図ります。

(参考) R4実績

- ・相談実績：731件（延べ1,111件）※12月末現在
- ・重層的支援会議開催実績 8回 26ケース

## II つながり・社会参加が生まれる場づくり

- (④参加支援事業、⑤地域づくり事業)

誰もが人と人のつながりの中で役割や居場所が持てる地域の実現のため、一人ひとりの多彩な社会参加を応援します。

### ● R5 に向けての強化ポイント

- ◆コーディネーターを増員し、就労、市民活動、ボランティア活動など、一人ひとりに応じた多彩な社会参加のコーディネート機能の強化を図ります。



ひきこもりの方の就労



大学生によるDEIキャンプ活動



退職シニアによるボランティア活動

I	生活支援相談課	担当	遠山	連絡先	077-582-1161
II	健康福祉政策課	担当	今野	連絡先	077-582-1123
	長寿政策課	担当	上本	連絡先	077-584-5474

# 重層的支援体制整備事業の詳細

## ① 包括的相談支援事業 (130,922千円)

- 家族まるごとの相談を受け付け、家族全体の課題を把握します。
- 民生委員やSSW（スクールソーシャルワーカー）等、地域との連携をさらに深め、8050問題等の課題を抱える市民への相談支援体制を強化します。



## ② 多機関協働事業 (107千円)

- 関係機関の連携をさらに進め、重層的支援会議による支援方針等の決定や、支援の創出によりケースの解決力向上を図ります。



## ③ アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 (2,814千円)

- 支援機関につながっていない方（ひきこもりの方等）を様々な情報を元に早期に把握し、支援員等による訪問等を通じて継続的な支援を行います。

## ④ 参加支援事業 (6,100千円)

- 外部支援団体と連携し、一人ひとりの希望や特性に応じた就労（居場所）など社会参加に向けた支援を行います。

## ⑤ 地域づくり事業 (87,079千円)

- こども・障害・生活困窮・高齢の各分野において、地域の支え合いを促進する取組を支援します。（未就園児事業、高齢者いきいき活動推進補助金を活用した地域による生活支援など）

健康福祉政策課、生活支援相談課、すこやか生活課、長寿政策課、地域包括支援センター、障害福祉課、こども政策課等

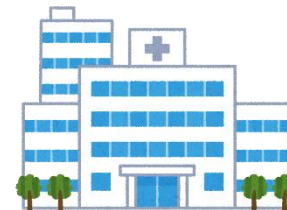
健康福祉政策課 連絡先 077-582-1123



# 人間ドック・脳ドック・骨密度検診利用助成事業

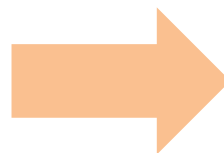
国保特会 予算 13,633千円 (県347千円)

助成金額を 1/2 から 2/3 相当額に拡充します



令和4年度まで

項目	助成金額 (1/2)
人間ドック	20,000円
脳ドック	15,000円
人間ドック 脳ドックセット	30,000円
骨密度	3,000円



令和5年度から

項目	助成金額 (2/3)
人間ドック	26,000円
脳ドック	20,000円
人間ドック 脳ドックセット	40,000円
骨密度	4,000円

助成金額は検査費用の2/3 (1,000円未満切り捨て)

※助成の上限 人間ドック26,000円、脳ドック20,000円、人間ドック・脳ドックセット40,000円  
骨密度4,000円 (済生会守山市民病院限定)

国保年金課 担当 椎野、後藤 連絡先077-582-1120

# 障害者支援の充実

予算 2,121,259千円（国1,060,629千円、県530,314千円）

## 1 【継】 障害福祉サービスの給付事業 1,544,349千円

障害者総合支援法に基づく生活介護やグループホームなどの障害福祉サービスの給付を行い、障害のある方の生活支援や相談支援の充実を図ります。

生活介護事業	467,900千円	グループホーム	217,730千円
就労継続支援事業	381,930千円	計画相談支援事業	13,630千円



ほか

## 2 【継】 障害児通所サービスの給付事業 576,910千円

児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所サービスの給付を行い、障害のある児童の発達支援や相談支援の充実を図ります。

児童発達支援事業	41,400千円	放課後等デイサービス事業	512,500千円
保育所等訪問支援事業	1,900千円	障害児相談支援事業	8,500千円



障害福祉課 担当 大寄、中川 連絡先 077-582-1168

# 結婚新生活支援事業

予算 6,000千円 (県4,000千円)

新婚世帯の新生活を応援します！！

## ＜新婚新生活支援補助金＞

**1 世帯あたり上限30万円**

※夫婦共に29歳以下で、

**2 世代同居（新婚世帯とその親）** する場合は30万円加算し、**上限60万円**

## ＜対象となる所得要件を緩和＞

夫婦の合計所得金額

R4:400万円未満 ⇒ R5:**500万円未満**

## ＜補助対象経費＞

令和5年4月1日から令和6年3月31日までに支払った経費

**住宅購入費、賃借に係る費用（家賃、敷金、礼金など）**

**引越し費用（引越し業者または運送業者に支払った費用）**

**リフォーム費用**



# 守山駅東口あり方検討事業

予算 23,000千円

守山駅東口全体におけるあり方検討については、これまで交通量調査や地権者との協議などを進めてきました。令和5年度には、市民アンケートを実施するなど、幅広く意見を聴取するなかで基本計画の策定を進めていきます。

## 守山駅東口再整備基本計画の策定および測量業務 23,000千円

### <主な検討項目>

- ・コンセプト
- ・ゾーニング
- ・ロータリーの規模、場所
- ・東西の連携、機能分担
- ・事業実施手法
- ・民間企業の参入可能性 など





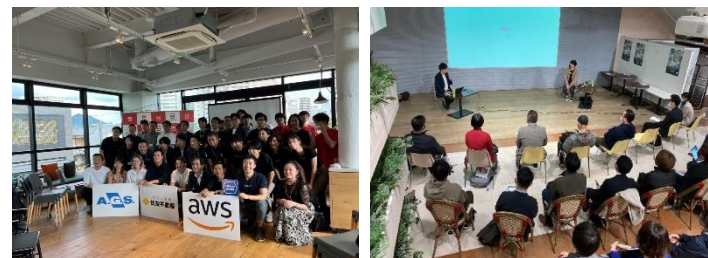
# 地方創生推進事業（起業・創業の支援）

予算 5,700千円（国2,850千円）

第2期地方創生総合戦略（期間：令和3年度から令和5年度）に「起業・創業の支援」を位置づける中、ベンチャー企業の集積やオープンイノベーションの推進、新たな起業や事業の創出など、地域における雇用の創出や地域活性化に向け、①民主導の取組支援②市を挙げた起業支援の機運醸成と体制整備③若い世代の人材育成を通して、官民連携により、市内外から「起業家の集まるまち」を目指します。

## スタートアップ集積推進事業（予算額 2,500千円）

- 本市を舞台に県内外から起業家、投資家が集まるイベントの開催や地域の課題解決に向けた起業家やベンチャー企業との官民連携によるモデル事業の実施を行います。



## 官民起業相談・支援体制構築事業（予算額 1,000千円）

- 官民の支援機関と起業支援に向けた情報共有の場づくりと、新庁舎等を活用した支援機関と連携したイベントや起業相談体制の構築に向けた検討・調査を行います。



## 次世代起業家教育プログラム事業（予算額 2,200千円）

- 市内外の起業家や企業、教育機関と連携を図る中、県内中・高生を対象とする起業家教育プログラム「キャリアチャレンジ」および成果報告会「びわ湖ピッチ」を行います。※同プログラムは令和4年度文科省キャリア教育連携表彰受賞事業です。



# 既存・新規就農者支援等事業

予算 16,253千円

## ①モリヤマメロン生産施設整備事業補助金

予算 12,500千円

補助率／上限額	50%（上限1,250千円/棟）
補助対象	モリヤマメロン生産部会員が新規に拡張整備するハウス



パイプハウス整備



アムスメロン

～モリヤマメロン既存生産者の栽培面積の拡張を支援します～

## ②モリヤマメロンパッケージ支援補助金

予算 3,753千円

**県下 初**

補助率／上限額	50%～100%/最大3,753千円（1名分） 支援期間… 1回～最大3年間（メニューによる）
対象者	モリヤマメロンを専作する認定新規就農者等
補助内容	①家賃補助 ②空家活用助成金 ③移住補助 ④農地補助 ⑤機械施設等取得補助 ⑥生産資材経費補助 ⑦就農支援補助 ⑧生産技術指導補助 ⑨トレーニングハウス利用補助

～安心して就農できる環境を目指して～

- ・市外からの移住を伴って就農される方も、その経費を支援します。
- ・就農後3年間に必要な経費も支援します。



# 市民活動支援事業

予算 492千円

- 地域の様々な団体の市民活動を応援するため、活動資金の助成や市内施設利用情報の提供、市民と団体のマッチング等に取り組んでいます。
- 令和5年度は、引き続き**市民参画手法の活用等**によりまちづくりに関わる市民を増やし、**市民活動の活性化**を図ります。
- 市民の力や地域の絆でつながるまちづくり**を推進するため、令和6年度の「**中間支援組織**」立ち上げをめざし取り組みます。

\* 中間支援組織 … 情報提供や課題解決への助言、専門家への取次ぎ等によって市民活動や団体活動の活性化を目的とする組織

## (仮称)中間支援組織あり方研究会での検討

(令和5年4月～10月)

学識経験者や市民活動団体などをメンバーとする研究会を設け、以下のような項目について検討します。

- ・ 現状（ニーズや課題）の把握
- ・ 市民活動の活性化に必要な機能
- ・ スタッフの募集方法
- ・ 中間支援組織の構築方法 など



## 中間支援コーディネーター養成講座の開催

(令和5年10月～令和6年3月)

- ・ 中間支援組織の運営を担う人材の育成をめざし、養成講座を開催します。
- ・ 受講者の募集は市広報のほか、市民懇談会等の参加者にも声をかけます。
- ・ 受講後には、中間支援組織運営やサポーターズクラブ（中間支援組織には加入しないが、運営の補助に参加）の参加をお願いします。

### 【講座内容（予定）】

活動計画書作成のポイント、NPO法人設立申請事務、人材雇用に関する労務管理 など

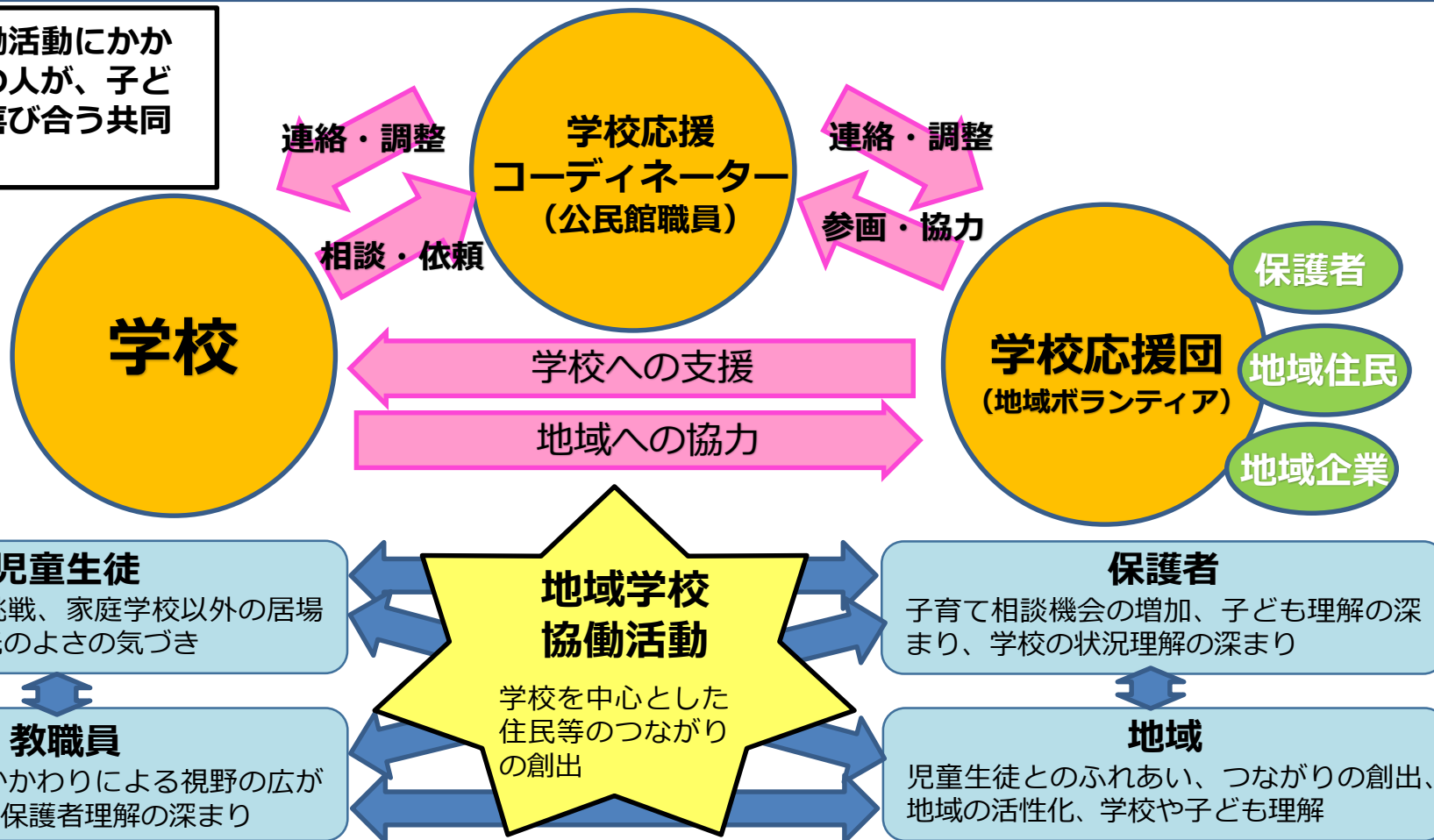
市民協働課 担当 村井 連絡先 077-582-1149

# 地域学校協働活動事業

予算 202千円（県134千円）

地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民や保護者等の参画により地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動の推進

地域学校協働活動にかかわるすべての人が、子どもの成長を喜び合う共同体をつくる。



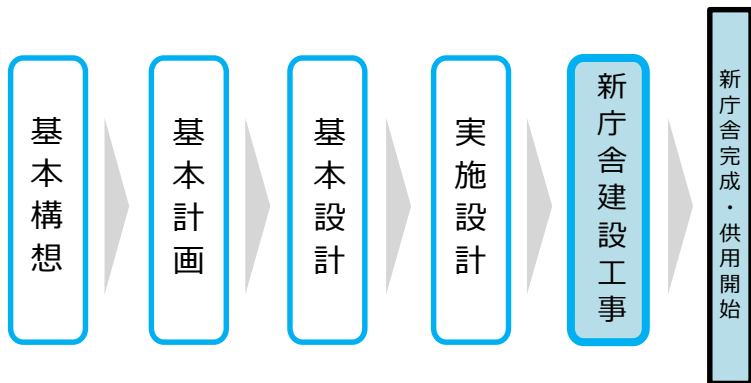
社会教育・文化振興課 担当 上田、藤田 連絡先 077-582-1142

市民が主役の守山！

# 新庁舎整備事業

予算 2,175,685千円（国142,273千円、県5,000千円、債1,011,500千円、基833,508千円）

令和3年12月に取りまとめた実施設計を基に、令和4年1月から新庁舎『つなぐ、守の舎』の本体工事に着手しています。令和5年度については、災害時の中枢拠点として市民の安全を守り抜く庁舎とすべく引き続き整備を進め、令和5年9月に暫定供用を開始する予定です。



## ～令和5年度の主な事業～

- 新庁舎整備DB事業 1,162,367千円
- AIを活用した消費I補償最適化システム構築 55,000千円
- 旧庁舎解体処分 361,000千円
- 新庁舎移転等 18,954千円

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
業者公募	➔				
実施設計		➔			
建設工事			★R4.1 本体工事着工	★R5.9 暫定供用	R7.3 本供用★

施設整備課(担当:姫野)、庁舎整備推進室(担当:田中) 連絡先 077-584-5926

市民が主役の守山！

# 自治体DX推進事業

予算 251,713千円（国13,300千円、債122,400千円、基40,000千円）

守山市版DX推進方針に基づき、新庁舎整備に合わせICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、各部署でのDX（業務プロセスの再構築、など）に取り組むとともに、国が進める標準化などにも着実に対応し、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進します。

## ◎ DX推進の基礎となる新ネットワーク等構築

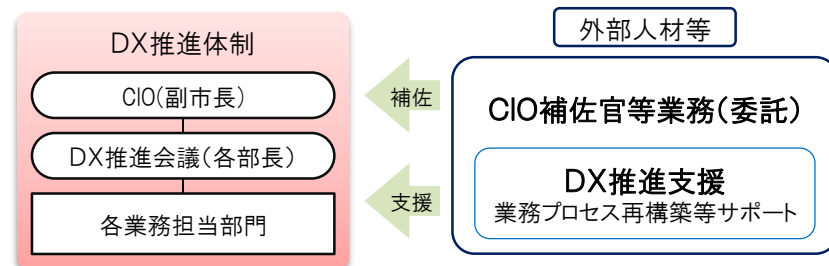
新庁舎の情報ネットワーク基盤の整備を行うとともに、R4市民課から開始の「窓口のスマート化」を拡張する。

○新ネットワーク構築	136,950千円
○災害対策室構築	33,441千円
○窓口スマート化（拡張）	26,600千円
○窓口番号発券構築	19,605千円
○会議室モニター等設置	4,304千円
○フリーWi-Fi設置	178千円

## ◎ 庁内DX推進体制

9,500千円

R4設置 自治体DX推進の庁内横断的な体制を継続し、ICT化を通じた業務改革等に取り組む。





# 自治体DX推進事業

## (1) 統合型GISの導入

43,580千円

各部局ごとに保有している地図情報のデータを統合し、まちづくり（都市計画）、道路、ハザードマップ、観光など、**市民・企業等が必要とする幅広い情報をオープンデータ化し、これまで直接窓口まで照会していた必要な情報をリアルタイムに提供し、利便性の向上を図ります。**

【地図情報を市HPにて公開】⇒

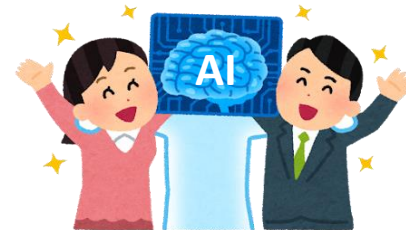


企画政策課 担当 中島 連絡先 077-582-1162

## (2) 保育所入所選考AIシステム導入 14,533千円

### 【再掲】保育所入所選考AIシステム等導入

保育所入所選考にAIシステム等を導入し、業務の効率化を図ります。また、**令和6年度には申込から結果通知送付までの期間を、従来の3か月から2か月に短縮**するとともに、オンライン申請に対応することで、**マイナンバーカードを活用して自宅から入所申込ができる**よう市民の利便性の向上を図ります。



保育幼稚園課 担当 安田・福谷 連絡先077-582-1129

## (3) 訪問調査モバイル導入

5,365千円

訪問調査モバイル（タブレット）を導入し、**紙資料をデータ化することにより、効率的な認定調査が可能**となり、件数が年々増加する調査に適切に取り組みます。



介護保険課 担当 森藤 連絡先 077-582-1127

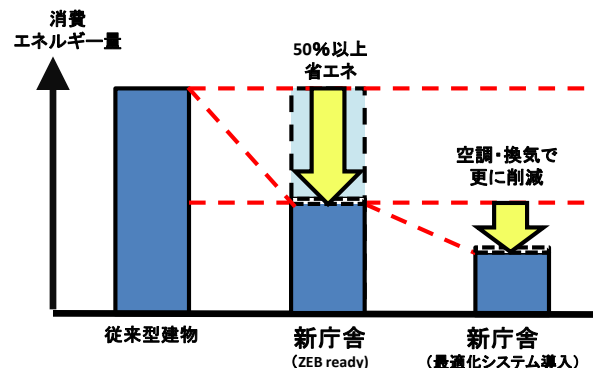
## (4) 庁舎AIエネルギーシステム

55,000千円

### 【再掲】AI技術を活用した消費エネルギー最適化システム

**AIで空調・換気設備の稼働効率を最適化し、消費エネルギー量の削減**を行います。

また、蓄電池システムと連携し消費電力のピークカットを行います。



庁舎整備推進室 担当 上田、姫野 連絡先 077-584-5926

# 市民窓口体制の充実

予算 10,816千円

- 市民の皆様の利便性の向上を図るため、新庁舎では、「書かない窓口」の実現をめざし、証明書交付マルチコピー機や住民異動受付窓口支援システムを導入します。
- 市のDX推進方針に基づき、“人とICT”が融合した窓口のスマート化の取組を進めており、市民課および税務課の窓口体制を充実します。

## 窓口コンシェルジュの配置

予算 10,407千円

市民課および税務課窓口コンシェルジュを配置し、来庁者の目的に応じて、適切かつ丁寧に手続きの案内等を行います。

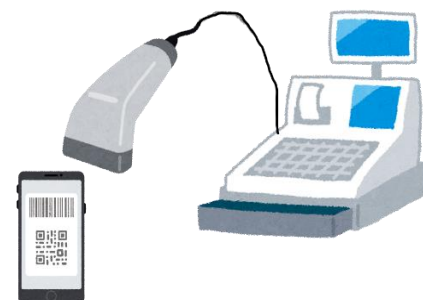


## キャッシュレス決済の導入

予算 409千円

市民課および税務課発行の証明書の手数料支払いに、キャッシュレス決済を導入します。

- 【導入する決済方法】
- クレジットカード (VISA・JCB等)
  - 電子マネー (ICOCA・WAON等)
  - QRコード (PayPay・auPay・d払い等) 予定



市民課	担当	小林	連絡先	077-582-1122
税務課	担当	牧野	連絡先	077-582-1115